

# 電気は買うより自分でつくる方が安い時代!

ちょっと待って

やったね!

「おんがら」  
「おんがら」

屋根の上が発電所  
自分でつくる電気

**ポイント**  
**1** 電気はつくるのがおトク!

太陽光パネルで「つくる電気」は電力会社から「買う電気」より安くなっています。売電価格が下がっていますが、設置コストも同様に下がってきているので、きちんと元が取れます。やる価値アリ!

**ポイント**  
**2** 初期費用のいらないプランも!

初期費用なしで設置した太陽光パネルで発電した電気を使いながら、費用を後払いするプランもあります。

**ポイント**  
**3** とってもクリーン!

猛暑、台風、水害、雪不足。気候変動の最大の原因は、化石燃料から出るCO<sub>2</sub>といわれています。太陽光発電の「つくる電気」で、子どもたちの未来を守りましょう。

# 自然エネルギーのある暮らし

自宅の屋根で「つくる電気」で生活できるってステキ。どこにでも満ちている無償の太陽の恵みを活かしながら、身の回りの自然とつながった暮らしをおくりましょう。



災害対策にもなります。

停電しても自立運転モードで最低限の電気が使えて安心。



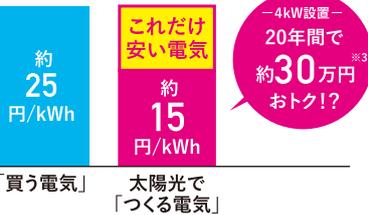
## つくる電気を選びたい理由

Q 「つくる電気」は「買う電気」代より安いってほんと？



A はい。設置費用は、この10年で3割から5割ほど安くなりました。設置費用が下がった結果、電力会社から「買う電気」よりも「つくる電気」の方が安くなりました。電力会社から「買う電気」の単価は平均25円/kWh<sup>※1</sup>程度ですが、「つくる電気」なら平均15円/kWh<sup>※2</sup>でグッと安い電気になり、お得です！

●電気料金比較



さらに余った電気は、最大21円で売る<sup>※4</sup>ことができます。



※1 通常の電気代は、資源エネルギー庁調達価格等算定委員会の調査によると、2018年全国平均25.03円(税抜)です。  
 ※2 同調査に基づき、1kWあたり29万円(税抜)の設置費用、20年間の運転維持費用を6万円(税抜)、また、1年間の発電量を1,200kWhとした場合、(29万円+6万円)÷(1,200kWh×20年)≒14.58円(約15円)  
 ※3 余剰売電比率70%、卒FIT買取9円として計算。金額は各種条件で異なります。  
 ※4 2020年度申請の場合。

Q 太陽光発電は、ホントにクリーン？



A 発電中にはCO<sub>2</sub>を出しません。製造時や廃棄するときに必要なエネルギーは、1年程度の発電で相殺できます。また、太陽光パネルの材料は90%以上リサイクル可能です。パネル本体は20~30年は発電が可能で、その間CO<sub>2</sub>の出ないエネルギーを生み出し続けます。

保守点検の情報は、こちら

信州ソーラーパトロール



クリーンなエネルギーで猛暑や台風や水害、気候変動を止めなすや!!

現実となる気候変動



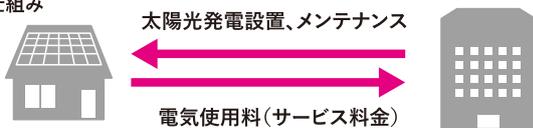
毎年、猛暑・台風や災害など、気候おかしい!と感じている方も多いかと思えます。長野県では2019年都道府県としては全国で初めて「気候非常事態宣言」を出し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ(ゼロカーボン)への決意を表明しました。県民が一丸となって徹底的なエネルギー消費の削減と再生可能エネルギーの普及への取組を進めています。

Q 初期費用がいらぬプランってあるの？



A はい。ご自分で資金を用意しなくてもよいプランを各社が提案しています。まず初期費用なしでパネルを設置して、その安い電気を使いながら、後払いしていく方式です。通常、契約期間終了時には、パネルは無償で譲渡されます。

●プランの仕組み(一例)



詳しい情報はこちらへ

自然エネルギー信州ネット



まるで、携帯電話のゼロ円契約みたいだね。

## あなたの家の屋根は、太陽光発電に向いてる？

「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」

ネット上で屋根の発電量・電気代節約額を簡単にチェック!



こちらからご確認ください!

信州屋根



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ